



人文研アカデミー 2025 公開シンポジウム

中ピ°連とは何だったか—— 榎美沙子とリブの70年代、 そして私たちの時代

対談：桐野夏生×嶋田美子

日時：2025年5月10日(土) 15:00～18:00(開場14:30) **参加無料**

会場：芝蘭会館 稲盛ホール(京都大学医学部キャンパス)+ZOOMウェビナー

現地参加：

申込先着200名

申込は右のコードより



オンライン参加：

申込先着500名

申込は右のコードより



(申込は定員に達し次第締め切らせていただきますので、あらかじめご容赦下さい)

中ピ連とは何だったか—— 榎美沙子とリブの70年代、 そして私たちの時代

対談：桐野夏生×嶋田美子

日時：2025年5月10日(土) 15:00～18:00(開場14:30)

会場：芝蘭会館 稲盛ホール(京都大学医学部キャンパス)
+ZOOMウェビナー

参加無料 申込は下記のコードもしくはURLより

現地参加：
申込先着200名



オンライン参加：
申込先着500名



<https://forms.gle/VkGy8LUD344fW5zk7>

ZOOMウェビナー <https://x.gd/FCHXP>

(申込は定員に達し次第締め切らせていただきますので、あらかじめご容赦下さい)

中ピ連——中絶禁止法に反対しピル解禁を要求する女性解放連合。日本のウーマン・リブが狼煙を上げた1970年代、恐れ知らずのカリスマ的リーダー榎美沙子のもと、女性の自己決定権を前面に掲げ、巷間に喧噪の渦を巻き起こしつつ、華々しく時代を駆け抜けていったこのユニークな運動体は、何のために闘い、何を社会に突きつけ、その結果、いかなる理由で世間から姿を消し、忘却される運命を強いられたのか。2023年、時を同じくして、あたかも中ピ連の記憶を呼び覚ますかのように、桐野夏生は連載小説『オパール』の炎』を書き、嶋田美子は美術展および書籍『おまえが決めるな!』を世に問うた。リプロダクティブ・ヘルス&ライツと女たちの生きづらさをめぐり、「リブの時代」と現代を往還しつつ、両氏とともに、そして榎の母校・京都大学にて、中ピ連および榎美沙子の再評価を試みる。

対談



(c)Wakaba Noda (TRON)

桐野 夏生(きりの・なつお)

作家。1998年『OUT』で日本推理作家協会賞、99年『柔らかな頬』で直木賞、2003年『グロテスク』で泉鏡花文学賞、04年『残虐記』で柴田錬三郎賞、05年『魂萌え!』で婦人公論文芸賞、08年『東京島』で谷崎潤一郎賞、09年『女神記』で紫式部文学賞、10年『ナニカアル』で島清恋愛文学賞、11年同作で読売文学賞、23年『燕は戻ってこない』で毎日芸術賞及び吉川英治文学賞を受賞。15年、紫綬褒章を受賞。21年早稲田大学坪内逍遙大賞、24年日本芸術院賞を受賞。21年より日本ペンクラブ会長。22～23年『婦人公論』に「オパール」の炎』連載。24年『オパール』刊行(中央公論新社)。



嶋田 美子(しまだ・よしこ)

アーティスト、60-70年代オルタナティブ文化研究。米国スクリpps大学卒業。英国キングストン大学にて博士号(美術史)取得。作品テーマは第二次世界大戦の文化的記憶とジェンダー。2017年ソウル市美術館「Asian Divas」展、19年あいちトリエンナーレ「表現の不自由展、その後」、同年MQウィーン「Japan Unlimited」展などに出品。23年、Ota Fine Artsにて個展「おまえが決めるな!」開催。主な著作に『応答せよ!絵画社 中村宏インタビュー』(編著、白順社、2021)、『おまえが決めるな! 東大で留学生が学ぶ《反=道徳》フェミニズム講義』(白順社、2023)。



司会

木下 千花(きのした・ちか)

京都大学大学院人間・環境学研究科教授。専門は映画学。博士(シカゴ大学)。『溝口健二論——映画の美学と政治学』(法政大学出版局、2016)にて芸術選奨文部科学大臣新人賞及び表象文化論学会学会賞。商業誌への寄稿に、「母の褒め殺し——現代日本映画における“毒母”など」(『世界』2021年6月号)、「二個の者がsame spaceヲoccupyスル訳には行かぬ——濱口竜介の映画世界における時空間とモノガミー」(『群像』2024年10月号)など。

ディスカッサント

直野 章子(なおの・あきこ)

京都大学人文科学研究所教授。専門は社会学。博士(カリフォルニア大学サンタクルーズ校)。著書に『原爆体験と戦後日本——記憶の形成と継承』(岩波書店、2015)など。論文に「罰を受ける母親たち——コロナ禍が映し出すジェンダー不平等とケアの危機」(『疫病と人文学——あらい、書きとめ、待ちうける』藤原辰史・香西豊子編、岩波書店、2025)など。京都新聞・神戸新聞にて子ども、家族、ケアについてのコラム多数。

コーディネーター

立木 康介(ついき・こうすけ)

京都大学人文科学研究所教授。専門は精神分析。博士(パリ第8大学)。著書に『露出せよ、と現代文明は言う』(河出書房新社、2013)、『女は不死である』(河出書房新社、2019)、『100分de名著 フロイト 夢判断』(NHK出版、2024)など。



主催：京都大学人文科学研究所(共同研究「家族と愛の研究」)

お問い合わせ

京都大学人文科学研究所総務掛

TEL：075-753-6902(平日9:00～17:00)

Mail：z-academy@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

芝蘭会館 稲盛ホール(京都大学医学部キャンパス)

詳しくは、こちらをご覧ください：

市バス：201系統、206系統、31系統、65系統「京大正門前」下車、徒歩2分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

